# 令和 6 年度 学校経営環境分析書

和庄中学校区 校番 13 学校名 和庄小学校

## 1 学校の内外環境の分析



## (支援的要因)

## 〈地域環境〉

- 学校周辺に公共施設や歴史・ 文化施設、商店等が多い。
- ・学校周辺に砂防ダム, 災害用 井戸等がある。

## 〈教育環境〉

- \*ゲストティーチャー,登校見 守り等の学校行事への参加があ り、学校支援の体制がある。
- PTA活動が活発である。
- N I E実践指定校であり、新 聞を教材として活用することが できる。

〈小中一貫〉

\*小中一貫が充実し、4校に連 携体制が整っている。



〈児童・生徒の実態〉

異学年交流が活発である。

## 〈教職員集団〉

- \*「チーム」としての意識が高 く、協力して教育活動に取り組 す。
- 自分の仕事に責任をもち、や り遂げる教職員が多い。
- ICTを効果的に活用した授 業づくりが進んでいる。

支援的要因と強みを生か した活動・取組は

- \*小中一貫教育を推進し,9 年間を通して和庄中学校区で 設定した資質・能力を育成す
- \*組織として主体的な学びを 進め、学力向上を図る。
- \*防災教育において、地域の 特色を生かしたカリキュラム マップに基づいた実践を行 う。
- ・保護者, 地域と連携し, 郷 土を愛する気持ちを育む。
- ICTを効果的に活用した 授業づくりを一層進め, 学力 向上につなげる。

# 内部環 〈牛徒指導の推進〉

- \*9年間を見通した組織的な 生徒指導を行う。
- \*「和庄中学校区スピリット」 の浸透に向けての取組を充実 させる。
- 教師と児童の信頼関係及び 児童相互の好ましい人間関係 を構築する。

## 〈学力向上〉

\*和庄中学校区授業モデルに よる「考える授業づくり」を 行う。

〈体力・運動能力の向上〉

- \*「メディアコントロール」 の取組により基本的生活習慣 の定着を図る。
- ・ 外遊びや運動の習慣化, 体 力・運動能力の向上を図る。 〈教職員体制〉
- ・主任を中心に, 一人一人の よさや強みを活かした組織体 制を確立する。

阻害的要因と弱みを克服 する活動・取組は

# 摬

## (阻害的要因)

## 〈家庭環境〉

- \*経済的な格差が大きく、困難 さを抱える家庭がある。
- \*一部の保護者であるが、対応 が長期化したり対応に困難さが あったりする等、外部機関との 連携が必要な場合がある。

〈地域環境〉

- \*交通量が多く、登下校時の安 全に課題がある。
- ・ 土石流並びに急傾斜地の特別 警戒区域に指定されている箇所 が多数ある。
- 自然体験や運動ができる場所 が少ない。
- 繁華街に隣接している。

# (報み)

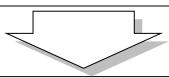
## 〈児童の実態〉

- \*主体的に行動できる児童・生 徒が少ない。
- ・学力差が大きく、学年によっ ては、基礎学力が定着していな い児童がいる。
- 既習事項を活用して問題解決 することに課題がある。

## 〈学校・教職員〉

- ・学校施設の老朽化が進み、修 理修繕が必要な箇所が多い。
- 運動場が狭い。
- 教職員は遠距離通勤者が多い。

\*和庄中学校共通事項



## 2 重点課題

〇和庄中学校区で設定した資質・能力を育成する。

- 基礎・基本を定着させ、「考える授業づくり」を実施し、思考力・判断力・表現力を育む。
- ・地域の特色を生かしたカリキュラムマップの実践により、家庭を巻き込む防災教育の深化を図る。
- 「和庄中学校スピリット」に基づく児童を育成する。
- 基本的生活習慣の確立や体力・運動能力向上を図る。